

# 西東京市国土強靱化地域計画（令和7年修正）【概要】

## 1 修正の基本的事項

### ■ 修正の趣旨

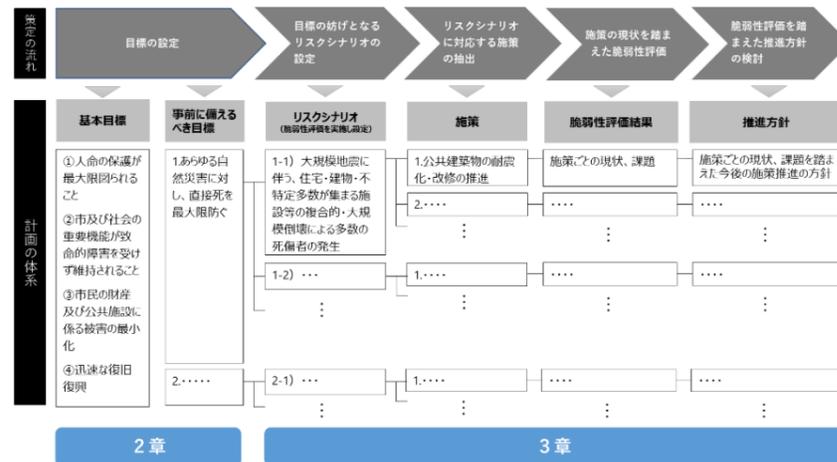
国土強靱化基本計画（令和5年7月閣議決定）や、都の被害想定の見直しに伴う西東京市地域防災計画（令和6年修正）に合わせ、令和5年度策定の第3次総合計画との整合を図りつつ、西東京市国土強靱化地域計画を修正する。

### ■ 策定の流れ

本計画の策定の流れと計画の体系の関係は下図のとおりである。

目標の設定においては、国の基本計画に基づき基本目標と事前に備えるべき目標を定め、本編 第2章で整理している。

目標の妨げとなるリスクシナリオの設定、リスクシナリオに対応する施策の抽出、施策の現状を踏まえた脆弱性の評価、強靱化のための推進方針の検討については、本編 第3章で整理している。



## 2 主な修正点

### ■ 脆弱性評価における見直し

#### 【国土強靱化基本法の改定】

国の基本計画の見直しにあたり、脆弱性評価の実施に必要なリスクシナリオ等の再整理が以下の4つの視点から検討がされた。

- ①近年の自然災害教訓や社会情勢変化等を踏まえた、新たな観点等の追加検討
- ②対象となる個々の自然災害の明確化
- ③対象となる各ライフラインの重要度・関連性を踏まえた最悪の事態の再整理

④脆弱性を考える上で一体・一連のものとして扱うほうが望ましい最悪の事態の統合

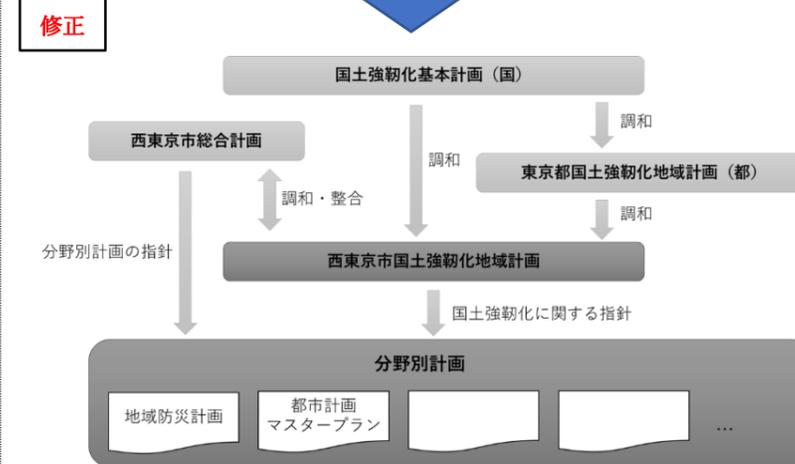
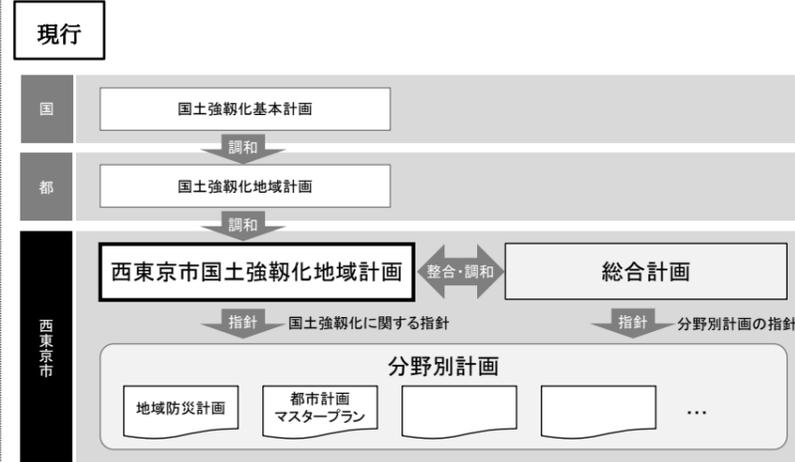
その結果、新計画では、**6**つの「事前に備えるべき目標」と**35**の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」にそれぞれ見直された。

#### 【西東京市国土強靱化地域計画の修正】

上記の基本計画の見直しに合わせ、西東京市国土強靱化地域計画では、**6**の事前に備えるべき目標と当市に関わりの薄いシナリオ（津波、空港・港湾関係等）を除いた**30**の起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）に再設定する。

※「事前に備えるべき目標」、「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」の再設定の詳細は2ページ目を参照

### ■ 計画の位置づけ

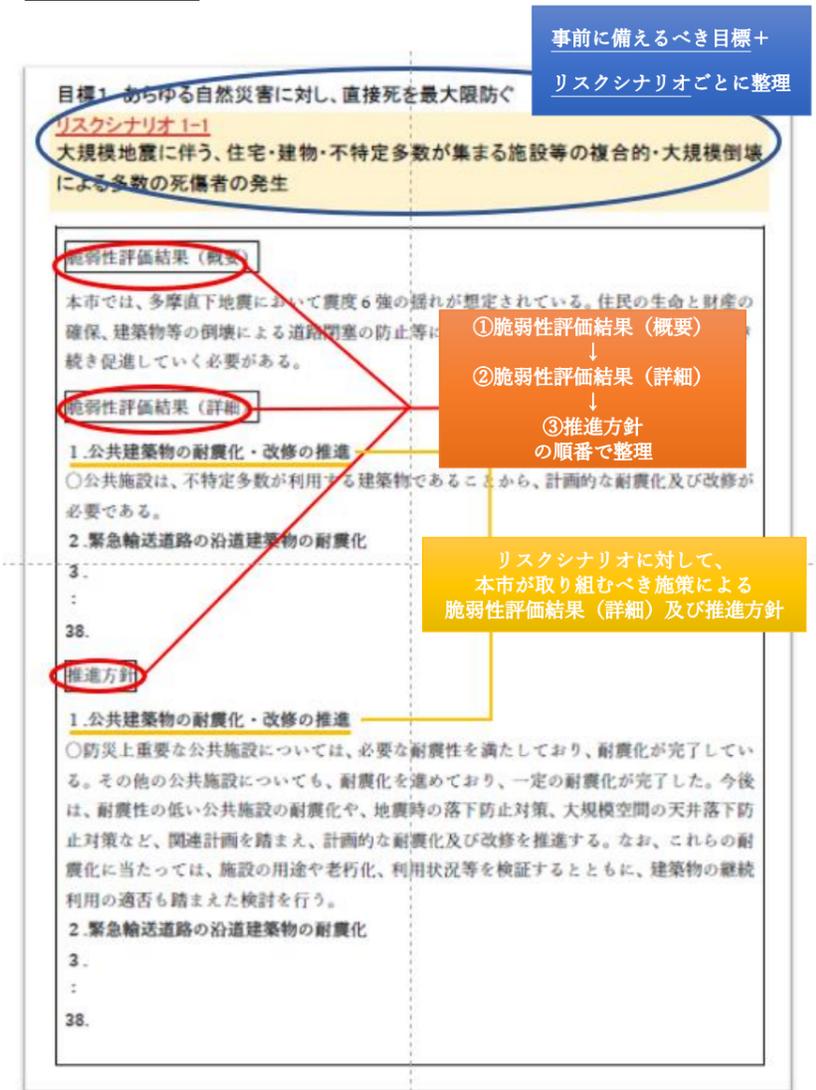


### ■ 構成の見直し

現行計画の①本編②別紙③別表の3部構成から、本編の章の整理と別紙を統廃合することにより、①本編②別表の2部構成に見直した。

また、現行計画では、脆弱性評価結果概要【本編 第3章】、脆弱性評価結果（詳細）【別紙1】、推進方針【本編 第4章】と多岐ページに渡って記載があり、今回の修正では、事前に備えるべき目標とリスクシナリオごとに整理し、本編と別紙に記載されていた内容を本編 第3章第4節に統合した。

本編 第3章 第4節：イメージ図



# 「事前に備えるべき目標」、「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」の再設定

旧 国土強靱化基本計画		新 国土強靱化基本計画																															
8つの「事前に備えるべき目標」と45の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」		6つの「事前に備えるべき目標」と35の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」																															
西東京市国土強靱化地域計画（修正前）		西東京市国土強靱化地域計画（修正後）																															
8つの「事前に備えるべき目標」と当市に関わりの薄いシナリオ（津波、空港・港湾関係等）を除いた39の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」に設定		6つの「事前に備えるべき目標」と当市に関わりの薄いシナリオ（津波、空港・港湾関係等）を除いた30の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」に再設定																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事前に備えるべき目標</th> <th>リスクシナリオ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 直接死を最大限防ぐ</td> <td>1-1 住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生 … 1-4まで</td> </tr> <tr> <td>2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する</td> <td>2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止 2-2 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 2-3 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺 … 2-6まで</td> </tr> <tr> <td>3 必要不可欠な行政機能は確保する</td> <td>3-1 被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 3-2 市職員・庁舎等の被災による機能の大幅な低下</td> </tr> <tr> <td>4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する</td> <td>4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止 … 4-3まで</td> </tr> <tr> <td>5 経済活動を機能不全に陥らせない</td> <td>5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下 5-2 エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響 … 5-7まで</td> </tr> <tr> <td>6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる</td> <td>6-1 電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止 6-2 上水道等の長期間にわたる供給停止 6-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止 … 6-6まで</td> </tr> <tr> <td>7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない</td> <td>7-1 地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生 7-2 沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺 … 7-6まで</td> </tr> <tr> <td>8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する</td> <td>8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 8-2 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態 … 8-5まで</td> </tr> </tbody> </table>	事前に備えるべき目標	リスクシナリオ	1 直接死を最大限防ぐ	1-1 住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生 … 1-4まで	2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止 2-2 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 2-3 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺 … 2-6まで	3 必要不可欠な行政機能は確保する	3-1 被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 3-2 市職員・庁舎等の被災による機能の大幅な低下	4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止 … 4-3まで	5 経済活動を機能不全に陥らせない	5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下 5-2 エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響 … 5-7まで	6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	6-1 電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止 6-2 上水道等の長期間にわたる供給停止 6-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止 … 6-6まで	7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない	7-1 地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生 7-2 沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺 … 7-6まで	8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 8-2 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態 … 8-5まで	<div style="text-align: center;"> <p>※旧計画の7は新計画の1～6全てに関連</p> </div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事前に備えるべき目標</th> <th>リスクシナリオ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ</td> <td>1-1 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生 … 1-4まで</td> </tr> <tr> <td>2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ</td> <td>2-1 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 2-2 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺 2-3 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生 … 2-6まで</td> </tr> <tr> <td>3 必要不可欠な行政機能は確保する</td> <td>3-1 被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 3-2 市職員・庁舎等の被災による機能の大幅な低下</td> </tr> <tr> <td>4 経済活動を機能不全に陥らせない</td> <td>4-1 サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力低下 4-2 重要な産業施設の損壊、火災、爆発等 4-3 金融サービス・郵便等の機能停止による市民生活・商取引等への甚大な影響 … 4-6まで</td> </tr> <tr> <td>5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる</td> <td>5-1 テレビ・ラジオ放送の中断やインターネット・SNSの障害等により、災害時に活用する情報サービスや通信インフラが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態 5-2 電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)の長期間・大規模にわたる機能の停止 … 5-6まで</td> </tr> <tr> <td>6 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する</td> <td>6-1 自然災害後の地域のより良い復興に向けた事前復興ビジョンや地域合意の欠如等により、復興が大幅に遅れる事態 6-2 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等)の不足等により復興できなくなる事態 6-3 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 … 6-6まで</td> </tr> </tbody> </table>	事前に備えるべき目標	リスクシナリオ	1 あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ	1-1 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生 … 1-4まで	2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ	2-1 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 2-2 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺 2-3 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生 … 2-6まで	3 必要不可欠な行政機能は確保する	3-1 被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 3-2 市職員・庁舎等の被災による機能の大幅な低下	4 経済活動を機能不全に陥らせない	4-1 サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力低下 4-2 重要な産業施設の損壊、火災、爆発等 4-3 金融サービス・郵便等の機能停止による市民生活・商取引等への甚大な影響 … 4-6まで	5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	5-1 テレビ・ラジオ放送の中断やインターネット・SNSの障害等により、災害時に活用する情報サービスや通信インフラが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態 5-2 電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)の長期間・大規模にわたる機能の停止 … 5-6まで	6 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	6-1 自然災害後の地域のより良い復興に向けた事前復興ビジョンや地域合意の欠如等により、復興が大幅に遅れる事態 6-2 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等)の不足等により復興できなくなる事態 6-3 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 … 6-6まで
事前に備えるべき目標	リスクシナリオ																																
1 直接死を最大限防ぐ	1-1 住宅・建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や不特定多数が集まる施設の倒壊による多数の死傷者の発生 … 1-4まで																																
2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止 2-2 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 2-3 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺 … 2-6まで																																
3 必要不可欠な行政機能は確保する	3-1 被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 3-2 市職員・庁舎等の被災による機能の大幅な低下																																
4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止 … 4-3まで																																
5 経済活動を機能不全に陥らせない	5-1 サプライチェーンの寸断等による企業の生産力低下 5-2 エネルギー供給の停止による、社会経済活動・サプライチェーンの維持への甚大な影響 … 5-7まで																																
6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	6-1 電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)や都市ガス供給、石油・LPガスサプライチェーン等の長期間にわたる機能の停止 6-2 上水道等の長期間にわたる供給停止 6-3 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止 … 6-6まで																																
7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない	7-1 地震に伴う市街地の大規模火災の発生による多数の死傷者の発生 7-2 沿線・沿道の建物倒壊に伴う閉塞、地下構造物の倒壊等に伴う陥没による交通麻痺 … 7-6まで																																
8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	8-1 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 8-2 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、労働者、地域に精通した技術者等)の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態 … 8-5まで																																
事前に備えるべき目標	リスクシナリオ																																
1 あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ	1-1 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生 … 1-4まで																																
2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ	2-1 自衛隊、警察、消防等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足 2-2 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能の麻痺 2-3 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生 … 2-6まで																																
3 必要不可欠な行政機能は確保する	3-1 被災による警察機能の大幅な低下による治安の悪化、社会の混乱 3-2 市職員・庁舎等の被災による機能の大幅な低下																																
4 経済活動を機能不全に陥らせない	4-1 サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力低下 4-2 重要な産業施設の損壊、火災、爆発等 4-3 金融サービス・郵便等の機能停止による市民生活・商取引等への甚大な影響 … 4-6まで																																
5 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	5-1 テレビ・ラジオ放送の中断やインターネット・SNSの障害等により、災害時に活用する情報サービスや通信インフラが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態 5-2 電力供給ネットワーク(発電電所、送配電設備)の長期間・大規模にわたる機能の停止 … 5-6まで																																
6 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	6-1 自然災害後の地域のより良い復興に向けた事前復興ビジョンや地域合意の欠如等により、復興が大幅に遅れる事態 6-2 復興を支える人材等(専門家、コーディネーター、ボランティア、NPO、企業、労働者、地域に精通した技術者等)の不足等により復興できなくなる事態 6-3 大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復興が大幅に遅れる事態 … 6-6まで																																